

未来を拓く柔軟な科学的思考力を育む「協同的探究学習」

－各教科の授業で非定型な課題の本質に迫る－

主催 名古屋大学教育学部附属中・高等学校

「協同的探究学習」は、児童・生徒が自分なりの方法で思考プロセスを表現し、教科の内容を深く理解することのできる、小・中・高各教科や課題研究で実践可能な学習法です。また、仲間と話し合うことで、児童・生徒が主体的に授業に関わろうとし、お互いの考えを聞くことで仲間を認め合うことのできる授業です。

2026 年度は、以下の日程で「協同的探究学習」の研究会を予定しています。

研究会	テーマ・教科・科目（予定）
SSH 成果発表会（対面） 7 月 3 日（金） 9：10～16：40	教科を越えて事象の本質を追究し、実践に生きる豊かな思考力を育む 一文理融合の視点で教科の学びをつなぎ「STEAM・STEAM+」を支える「協同的探究学習」－ 【中学校】理科、音楽、STEAM-1、保健体育（保健）、国語の公開授業・検討会 【高等学校】データサイエンス、アカデミックライティング、社会（地理総合）、DEI サイエンス、課題研究 STEAM+の公開授業・検討会
第 1 回（オンライン） 7 月 24 日（金） 13：00～17：00	多様な事象から規則性や原理を見だし、その根拠を自分の言葉や図式で説明する力を高める「協同的探究学習」 数学科、社会科（中学校、高等学校）
第 2 回（オンライン） 11 月 28 日（土） 13：00～17：00	タイトル未定 英語科、理科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討 保健体育科（中学校、高等学校）の実践

第 1 回の研究会では、「多様な事象から規則性や原理を見だし、その根拠を自分の言葉や図式で説明する力を高める「協同的探究学習」」をテーマとして数学科、社会科の実践紹介・検討を行います。協同的探究学習の趣旨や理念を理解した上で実践している公立中学校の実践紹介も行います。

実際に行われた協同的探究学習の授業では、自分の見出した考え方や規則性が他者に認められ、他者に生かされて共有する楽しさが生まれます。また、自分や他者の考えを関連付けながら、多様な見方や考え方を統合し、クラス全体で包括的な原理や本質の探究が進みます。そのような授業を実現する課題設定のポイントと工夫や、それに対して生徒がどのような思考をしたかについて紹介します。

第1回（オンライン）

多様な事象から規則性や原理を見だし、
その根拠を自分の言葉や図式で説明する力を高める「協同的探究学習」

2026年7月24日（金）13：00～17：00

第1部	本日の研究会の趣旨説明	13：00～13：10
	藤村宣之先生（東京大学）の講演（50分）	13：10～14：00
第2部	数学科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討	14：10～15：30
第3部	社会科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討	15：40～17：00

- 本校と兵庫県加古川市内の公立中学校の実践紹介を予定しています。
- 各実践紹介・検討後に藤村先生からのご助言をいただきます。
- 第3部終了後に協同的探究学習などに関する質疑応答の時間も設ける予定です。
- 部分参加も可能です。
- 様々な教科に通じる授業づくりのポイントや工夫などを紹介します。数学科、理科以外の先生方も是非ご参加ください。

対象者	小学校・中学校・高等学校・大学の教員（非常勤講師を含む）、 教育委員会関係者、教員志望・研究者志望の大学生および大学院生
形態	オンライン（Zoom）
会費	無料
申し込み方法	7月22日（水）までに、本校ホームページの申し込みフォーム （ https://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp ）、または、右のQRコード を読み取りお申し込みください。



講演 生徒の深い学びを実現する授業づくり

講師 東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生

京都大学大学院教育学研究科において博士（教育学）を取得。名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授などを経て現職。専門は、教育心理学、発達心理学。カーネギーメロン大学（アメリカ合衆国）客員研究員、日本学術会議連携会員などを務めてきている。

著書	『「わかる」はどう深まるか—子どもの思考の発達と協同的探究学習—』 （単著、ちとせプレス、2025年） 『新しい時代の教育方法（第3版）』（共著、有斐閣、2024年） 『国際的に見る教育のイノベーション—日本の学校の未来を俯瞰する—』 （共著、勁草書房、2023年） 『発達心理学—周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか—（第2版）』 （編著、ミネルヴァ書房、2019年） 『協同的探究学習で育む「わかる学力」—豊かな学びと育ちを支えるために—』 （藤村宣之・橘春菜・名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、ミネルヴァ書房、2018年） 『数学的・科学的リテラシーの心理学—子どもの学力はどう高まるか—』 （単著、有斐閣、2012年） 『協同と探究で「学び」が変わる—個別的・ドリルの学習だけでは育たない力—』 （分担執筆、名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、学事出版、2013年）。 他多数
----	--